

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

朝来まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

兵庫県朝来市

3 地域再生計画の区域

兵庫県朝来市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は昭和 22 年（1947 年）の 49,448 人をピークに減少しており、平成 27 年（2015 年）国勢調査では 30,805 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和 22 年（2040 年）には本市の総人口は 22,104 人となる見込みである。

20 歳～24 歳の人口の 2～3 割の若者が、進学や就職を機に都市部へ流出しており、慢性的な産業人材の不足や地域活力の低下をもたらしている。

人材の不足は創業比率の低下をもたらすとともに、地域の中小企業の事業拡大への意欲や持続可能性を喪失させ、それに伴う魅力的な雇用の減少が、さらなる人材の流出と地域産業の衰退につながっている。

これらの課題に対応するため、次に掲げる事項を本計画期間における基本目標として、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現を図り自然減の抑制につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減にも歯止めをかける。

基本目標 1 自分らしく生き生きと活躍する「ひと」づくり

基本目標 2 魅力ある多様な「しごと」づくり

基本目標 3 誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり

【数値目標】

| 5-2の ①に掲げ る事業 | K P I | 現状値 (計画開始 時点) | 目標値 (2024年度) | 達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標 |
|---------------------|--|-------------------------|-----------------|-----------------------------|
| ア | 朝来市が好きだと思ふ生徒の割合（中学3年生アンケート調査） | 87.0% | 90.0% | 基本目標1 |
| | 住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合（市民アンケート調査） | 62.8% | 65.0% | |
| | 朝来市に住み続けたいと思ふ市民の割合（市民アンケート調査） | 65.4% | 70.0% | |
| | 家族や友だちに朝来市への移住を勧めたいと思ふ市民の割合（市民アンケート調査） | 37.9% | 45.0% | |
| | 自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合（市民アンケート調査） | 28.7% | 32.0% | |
| | 朝来市の支援制度等を利用して転入した人数 | 566人 (H26～H30 年度) | 1,250人（ 累計） | |
| | 居住年数10年未満の市民で朝来市が住みやすいと思っている市民の割合（市民アンケート調査） | 62.8% | 70.0% | |
| イ | 市内事業所への新卒就業者 | 56人/年 | 60人/年 | 基本目標2 |

| | | | | |
|---|---|------------------------------|------------------------------|--------|
| | 数（抽出：就活サポートブック掲載企業のうち製造業、建設業、福祉事業31社） | | | |
| | 朝来市内女性就業者比率（国勢調査） | 68.8% | 70.8% | |
| | 観光入込客数（観光動態調査） | 2,278千人 /年 | 2,571 千人 /年 | |
| | 一人当たりの観光消費額 | 3,527 円 | 3,836円 | |
| | 認定農業者数 | 29 人 | 44人 | |
| | 朝来市全体の農業収入額 | 11.6 億円 | 13.0億円 | |
| | 素材生産量（兵庫県林業統計書） （市内山林での立木を伐採し丸太にして販売した生産量） | 15,789 m ³ / 年 | 18,000 m ³ / 年 | |
| ウ | 地域自治協議会の参画人数 | 1,671 人 | 1,850人 | 基本目標 3 |
| | 区の活動に参加した市民の割合（市民アンケート調査） | 69.7% | 75.0% | |
| | 自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合（市民アンケート調査） | 28.7% | 32.0% | |
| | 元気高齢者の割合 | 78.1% | 80.0% | |
| | 国際交流・国内交流など多様な交流が推進されていると感じる市民の割合（市民アンケート調査） | 43.6% | 45.0% | |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

朝来まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 自分らしく生き生きと活躍する「ひと」づくり事業

イ 魅力ある多様な「しごと」づくり事業

ウ 誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり事業

② 事業の内容

ア 自分らしく生き生きと活躍する「ひと」づくり事業

自分らしく生き生きと活躍する人を育むことにより、移住者や関係人口等の新たな人の流れや新たなまちの動きにつなげる事業。

【具体的な事業】

- ・多様な人とつながる場の情報発信
- ・地域のリーダーを育む（講座の開催、若者の活躍の場づくり等） 等

イ 魅力ある多様な「しごと」づくり事業

各年齢層に応じてキャリア教育の推進や市内の仕事の魅力ややりがいなどを伝えることにより、一人一人の希望に応じた多様な働き方や経済活動の実現につなげ、朝来市の経済活性化を推進する事業。

【具体的な事業】

- ・市内企業の情報、魅力を発信
- ・市内企業の情報、魅力を伝える場づくり（トライやるウィーク） 等

ウ 誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり事業

地域コミュニティの中で誰もが居場所と役割を持ち、心豊かに安心して暮らせるまちづくりを、多様な主体による対話の場を持ちながら推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 地域住民の意見が反映される仕組みづくり
- ・ 多様な主体が地域づくりに参画するための情報発信 等

※なお、詳細は第2期朝来市創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかに市公式HPサイト上に公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで